



背景知識

テーマ データ分析

歴史に学ぶ

1995年 アメリカのネットスケープがインターネットの「クッキー」を開発。

1997年 NASAの科学者マイケル・コックスとデビッド・エルスワースが、スーパーコンピュータで処理される膨大な量の情報をビッグデータと命名。

2000年 ペンシルベニア大学の経済学者フランシス・X・ディーボルドが論文「ビッグデータ マクロ経済の測定と予測へのダイナミック・ファクター・モデル」を発表。

2013年 エドワード・スノーデンが、米国家安全保障局(NSA)はネットのビッグデータを収集して国民を監視していると告発した。

ビッグデータを使わないのは自殺行為、高速道路を目隠して走るに等しい

ビッグデータの活用

デジタル・コミュニケーションが起きる場所には膨大な量の情報が集まる。

「ビッグデータ」を管理・分析すれば…

…何百万という人々の視聴傾向や購買動向が見えてくる。

ビッグデータを使わないのは自殺行為、高速道路を目隠して走るに等しい。

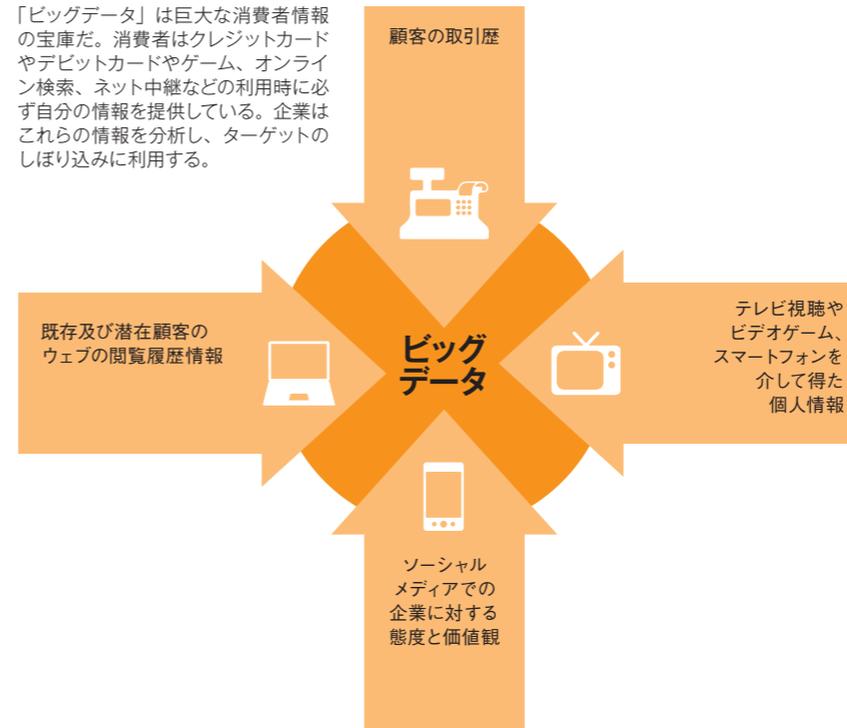
今 は政府も企業もあたりまえのように膨大な量の情報を収集・分析している。こうした「ビッグデータ」には、支払いに使ったクレジットカードやデビットカードの情報から、ネット・ユーザーのサイト閲覧履歴、ソーシャルメディアからの情報、スマートフォンやゲーム機などから得られる情報まで、あらゆる個人情報が含まれる。その巨大さゆえ、従来のデータベースではビッグデータの保存・管理は困難だった。

ビッグデータの活用

ビッグデータは、消費者動向やターゲット顧客に関する市場調査に利用される。これによって、市場で利益が見こめるすき間を見いだすのだ。アメリカの保険会社プログレッシブ保険も、ビッグデータを使って利益の増加を目指す企業だ。同社は、自動車の故障診断用ポートに特殊なデバイスを装着したドライバーに安い保険料を適用することで、シェアの獲得をねらった。このデバイスは、スピードや故障頻度、急加速といった、その自動車の運転に関する情報をGPS経由で保険会社に自動送信する。保険会社が欲しいのは、保険料の払い漏れもなく、保険金を支払う大事故も起こさない安全なドライ

参照:儲かるニッチを探せ 22-23 ■ ライバルを知れ 24-27 ■ 勝ち残るためのエッジを磨く 32-39 ■ 売上げ予測 278-79 ■ 正しいテクノロジー 314-15

「ビッグデータ」は巨大な消費者情報の宝庫だ。消費者はクレジットカードやデビットカードやゲーム、オンライン検索、ネット中継などの利用時に必ず自分の情報を提供している。企業はこれらの情報を分析し、ターゲットのしほり込みに利用する。



バーだ。プログレッシブ保険はこのビッグデータを活用し、最高の顧客を抽出することができる。

ビッグデータを活用して新たな収入源を得たのは、アメリカのビデオレコーダー製造会社ティーボだ。ティーボの製品はインターネットに接続されている。これにより、同社はティーボ利用者の膨大な視聴データを比較的低コストで収集できる。最終的に、ティーボはこの情報を広告主に販売している。広告主である企業は、このデータと自社製品の売上げデータの相関性から、テレビ広告の効果測定ができるメリットがあるというわけだ。

商品開発への活用

アメリカの動画配信会社ネットフリックスは、製品開発にビッグデータを

活用している。2011年、利用者数3300万人突破が間近に迫ると、ネットフリックスはイギリスのBBC制作のドラマ「ハウス・オブ・カード」のリメイク版の製作を決定した。ビッグデータの情報から、ネットフリックスは同シリーズのアメリカ版製作には1億ドルの価値があると見込んでいた。オリジナル版がかなりのダウンロード数を獲得していたからだ。製作にもビッグデータが活用された。同シリーズのファンは、ケビン・スペイシー主演映画も好む傾向があるので、彼と何度もタッグを組んでいるデビッド・フィンチャーを監督に抜擢したのだ。■

ネットビジネスの「クッキー(Cookie)」活用

「ビッグデータ」の最も良い例は売上げデータだ。アメリカの通販サイトのアマゾンが毎日、何億もの顧客のブラウザ履歴や購買データを収集している。アマゾンは、ブラウザに保存されているテキストファイル「クッキー」を利用して、顧客がどんな商品に関心をもっているかを把握している。この情報を活用して、顧客の興味をそそる商品を勧め、もっと買い物をするよう促しているのだ。

「クッキー」は、顧客がサイト上で入力した名前や住所、クレジットカード情報などを、顧客のパソコンのハードディスク上に保存するサイト固有のIDのようなものだ。これにより、顧客がウェブサイトに再び訪れると、パソコンに保存されたそのIDが企業に送られるので、企業は顧客を判別することができ、名前を呼びかけてユーザー名などを入れた挨拶文を表示することができるようになるのだ。また、顧客が一度でも入力した住所やクレジットカード情報をすぐに呼び戻すことができるので、通販サイトにとっては処理のスピード化と顧客満足度の向上が期待できる。

“ データを入手する前に 仮説を立てるのは 大きなまちがいだ。 ”
アーサー・コナン・ドイル
 「シャーロック・ホームズ」シリーズの 作者、医師(1859-1930)